

## 世界と日本の水事情 吉村和就著

### グ

ローバルウォー  
タ・ジャパン代

表の吉村和就氏がこの  
ほど、これまで月刊  
誌に連載した記事を抜  
粋、再構成した『世界  
と日本の水事情』を水  
道産業新聞社から発行  
した。

navi(1)「世界の  
動きを見る」では、米

国、EU、アジア諸国  
など世界のさまざまな

地域の水事情を「持続  
可能な開発目標(SD  
Gs)と水問題」「下水  
で判る、新型コロナウイルス  
イルス感染症の挙動」  
など30編に分けて多面  
的に分析。navi(2)  
「日本の動きを見る」は、  
水道法改正を巡るマス

コミ報道のあり方に疑  
問を呈する一方、「水は  
社会生活を映し出す鏡  
である」と題して、一

昨年夏の甲子園を沸か  
せた金足農高(秋田)の  
試合中の秋田市の水道  
配水量の変動をグラフ  
で表すなど、筆者の長  
年の経験と独自取材で  
培った知見が盛り込ま  
れた硬軟自在の読み物  
になっている。



■A5判、208頁、本体価格1,650円(税込)。  
お申込み、問い合わせは水道産業新聞社企画出版部  
(TEL 03・6435・7644 <http://www.suidou.co.jp/>)

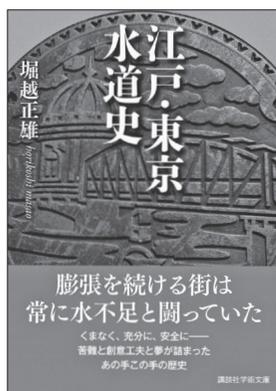
## 江戸・東京水道史

堀越正雄著

1 981(昭和56)  
年に鹿島出版会

から刊行された「水道  
の文化史」が約40年の  
時を経て、「江戸・東京  
水道史」と改題し、こ  
のほど講談社で文庫化  
された。

徳川家康が、さびれ  
た寒村でしかなかった  
江戸に入り、家臣の大  
久保藤五郎に命じて小  
石川の上水を引いてか  
ら、江戸は日本の中心  
都市としての基礎を固  
めた。拡大する市街  
に上水を供するため、



■A6判、320頁、  
定価1,180円(税別)  
講談社学術文庫

独創的な工夫を続け、  
1898(明治31)年に  
通水を開始。以後、日  
本の首都として急速に  
発展してきた。その間、  
震災、戦災、水害、地  
盤沈下など度重なる危  
機をどう乗り越えてき  
たのか。  
東京都水道局で実務  
に携わった著者堀越正  
雄氏(故人)が供給側と  
市民生活の変貌を浮き  
彫りにしている。過去  
の良書を発掘して出版  
してきた講談社学術文  
庫ならではの1冊だ。

本誌・堂馬隆之